

日本分類学会連合ニュースレター

*News Letter published by the Union of
Japanese Societies for Systematic Biology*

No. 45 [2025 年 7 月 20 日]

日本分類学会連合のトピックス

第 23 回日本分類学会連合公開シンポジウム

日本分類学会連合第 24 回公開シンポジウム「自然の記録を未来へ、生物標本の採集・作製・保管の多様性」が、2025 年 1 月 11 日（土）にオンラインで開催されました。盛会となり、272 名（事前申込数 318 名）の参加がありました。シンポジウムの要旨は、日本分類学会連合公式ウェブサイトの以下の URL からダウンロードできます。 <http://www.ujssb.org/sympo/index.html>

2024 年度活動報告

2024 年度（2024 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日）における当連合の主な活動は以下の通りです。

2024 年 1 月 6 日 第 23 回総会・シンポジウム「牧野富太郎と分類学—植物へのこだわりと教育普及—」を開催（参加者数：311 名；事前申込数：375 名）。総会にて 2024-2025 年度役員・委員を承認。2024 年度予算としてロゴマークの作成費等を承認。

2024 年 1 月 23 日 第 23 回総会議事録を作成。

2024 年 2 月 15 日 真核生物の和名命名行為の現状を把握するためのアンケート（標準和名問題検討ワーキンググループ）を実施。

2024 年 3 月 8 日 生物科学学会連合（生科連）が「ピアレビューによる動物実験の機関管理と認証評価に関する特別法制定についての要望書」に賛同することについて、加盟団体に審議を依頼。3 月 22 日付で賛同として承認。

2024 年 3 月 21 日 生科連が主導する「科研費増額に関する要望書と署名サイトの設置」について加盟団体に審議を依頼。4 月 8 日付で賛同として承認。

2024 年 4 月 25 日 生科連定例会議（オンライン）に出席（代表・庶務）。

2024 年 7 月 2 日 定例役員会を実施。

2024 年 9 月 11 日 生科連の依頼に基づき「雇い止め問題」についてのアンケートを実施。アンケート結果をもとに生科連等から文部科学省に向けて提言が行われることについて、役員会にて 11 月 11 日付で賛同として承認。

2024 年 11 月 18 日 日本分類学会連合のロゴマークについて、加盟団体に投票を依頼。12 月 10 日付で締め切り。

2024 年 12 月 21 日 生科連定例会議（オンライン）に出席（代表・庶務）。

2024 年 12 月 25 日 定例役員会を実施。ロゴマークの投票結果を承認。沖縄自然史博物館設立に関する日本学術会議主催のシンポジウムへの協力を承認。

ABS 問題対策ワーキンググループ報告

- 国内の大学・研究機関からの個別の支援要請に対応。2024 年度の相談件数（2024 年 12 月 16 日現在）：11 件（台湾、マレーシア、フランス、エクアドル、インドネシア、ベトナム）
- 国立沖縄自然史博物館設立準備委員会が発行する機関誌ナチュラリストリーミュージアム 7 号に、「国立沖縄自然史博物館の海外産生物標本の受入と管理に係る ABS 事情と対応」が掲載。
- 東南アジア地域での ABS 関連手続き等を調査し、実際に遺伝資源取得を行い、成功事例の解説記事を国立遺伝学研究所のウェブサイトで公開。2024 年度はインドネシア、フィリピン、ラオス、スリランカの情報を追加。
<https://idenshigen.jp/database/genetic-resource-casestudies2/>
- 2024 年 10 月 10 日に兵庫県立人と自然の博物館、11 日に国立遺伝学研究所で、都立大牧野 ABS 支援チームが主体となり「アジア ABS セミナー」を実施。
- DSI に関する生物多様性条約第 16 回締約国会議（CBD-COP16）の結果について。
https://www.env.go.jp/press/press_03913.html
COP15 で設立が決定された遺伝資源に関するデジタル配列情報（DSI）の使用に係る利益配分に関する多国間メカニズムに関し、DSI から利益を得る業界の DSI 使用者が、利益などの一部をグローバル基金（カリ基金）に拠出することを締約国が促すことや、それを生物多様性条約の目的のために使うこと等が決定された。拠出率や対象企業規模の目安は次回 COP17 までの期間に更に検討される予定。少なくとも当面、学術目的の DSI の利用については特に制限は課せられず、また DNA データベースの利用料徴収もされないことになった。

（座長・村上哲明）

国立自然史博物館新設ワーキンググループ報告

- 国立沖縄自然史博物館設立の計画が国の行政機関に認知されつつあり（添付）、設立準備委員会（代表理事 岸本健雄先生）から学会等での周知を促進するため、シンポジウムなどのイベント開催の要請があった。
- 設立準備委員会としては 7 から 10 年後の設立を目指しているが、その頃に中堅研究者として博物

館の活動を内外から強力に支える世代、つまり現在の若手世代が、国立沖縄自然史博物館設立について、強い当事者意識を持つことが重要である。
(座長・大塚 攻)

標準和名問題検討ワーキンググループ報告

- 2024 年 2 月 15 日付で分類学会連合加盟団体および非加盟の 11 団体に対して「真核生物の和名命名行為の現状を把握するためのアンケート」を依頼した。当初 3 月末を目途に回答を依頼したが、最終的には 8 月末まで延長した。その結果、連合非加盟の 5 団体を含む 24 団体から回答を得た。集計についてはほぼ完了しており、近日中に加盟団体ならびにアンケートに回答いただいた非加盟団体には結果を送信する。また、内容の分析結果は連合 HP を通じて公表する。

(座長・瀬能 宏)

一般社団法人国立沖縄自然史博物館準備委員会の賛助団体会員への加入

当連合は、加盟団体の皆様のご承認を経まして、2025 年 7 月 8 日付で、一般社団法人国立沖縄自然史博物館設立準備委員会に賛助会員（3 口）として入会しましたのでご報告いたします。

準備委員会の活動につきましては下記のウェブサイトをご参照ください。

<https://sites.google.com/view/okinawa-natural-history-museum/>

(日本分類学会連合代表 藤田敏彦)

(担当：庶務幹事 井手竜也)

日本分類学会連合加盟学会の大会・シンポジウム情報

新型コロナウイルスの流行状況によって、様々な学会で大会・シンポジウムのスケジュールや実施方法の変更が行われる可能性があります。各加盟団体のホームページから最新情報を入手してください。

種生物学会

2025 年度（第 57 回）種生物学シンポジウム

会期：2025 年 12 月 19 日（金）～21 日（日）

会場：東京都八王子市

備考：2025 年 12 月 14 日（日）にポスターセッションをオンライン開催。

詳細：<https://www.speciesbiology.org/symposium/>

日本魚類学会

2025 年度日本魚類学会年会

会期：2025 年 11 月 21 日（金）～24 日（月）

会場：東京海洋大学品川キャンパス（港区）

URL：<https://www.fish-isj.jp/index.html>

備考：11 月 21 日（金）14 時～17 時には公開シンポジウム「国立沖縄自然史博物館構想と魚類の多様性研究」が開催されます。

日本蜘蛛学会

日本蜘蛛学会第 57 回（2025 年）大会

会期：2025 年 9 月 27 日（土）、28 日（日）

会場：東京環境工科専門学校（墨田区）

URL：<https://www.arachnology.jp/index.php>

日本原生生物学会

第 58 回日本原生生物学会大会

会期：2025 年 9 月 26 日（金）～28 日（日）

会場：奈良教育大学（奈良市）

URL：<http://protistology.jp/index.html>

日本甲虫学会

日本甲虫学会第 15 回大会

会期：2025 年 11 月 15 日（土）～16 日（日）

会場：倉敷市立自然史博物館・倉敷市立美術館（倉敷市）

URL：<https://coleoptera.sakura.ne.jp/event/taikai/taikai2025.html>

日本古生物学会

第 175 回例会

会期：2025 年 12 月 5 日（金）～7 日（日）

会場：SS プラザせんだい（薩摩川内市）

URL：<https://www.palaeo-soc-japan.jp/events/>

日本昆虫学会

日本昆虫学会第 85 回大会

会期：2025 年 9 月 13 日（土）～15 日（月）

会場：東京農業大学厚木キャンパス（厚木市）

URL：<https://entsoc.jp/meeting/2025/>

日本シダ学会

日本植物学会第 89 回大会（福岡）の関連集会として総会とシンポジウムを開催予定

会期：2025 年 9 月 18 日（木）

会場：福岡国際会議場

日本進化学会

第 27 回日本進化学会滋賀大会

会期：2025 年 8 月 20 日（水）～23 日（土）

会場：長浜バイオ大学（長浜市）

URL：<https://ev25.nagahama-i-bio.ac.jp/>

日本蘚苔類学会

日本蘚苔類学会第 54 回滋賀大会

会期：2025 年 8 月 16 日（土）～18 日（月）

会場：滋賀県立文化産業交流会館（米原市）

URL：<https://forests-world.com/Shiga/annai.html>

日本線虫学会

2025 年度（第 32 回）日本線虫学会大会

会期：2025 年 9 月 1 日（月）～3 日（水）

会場：かでる 2・7（札幌市）

URL：<https://senchug.org/meeting.html>

日本ダニ学会

第 34 回 日本ダニ学会大会

会期：2025 年 9 月 26 日（金）～28 日（日）

会場：東京農工大学小金井キャンパス（小金井市）

URL：https://acarology-japan.org/ja/taikai/

日本爬虫両棲類学会

日本・台湾爬虫両棲類学合同大会

日本爬虫両棲類学会 第 64 回大会

会期：2025 年 9 月 21 日（日）～22 日（月）

会場：台北市立動物園（台湾 台北市）

URL：https://sites.google.com/view/hsj64-ja

日本プランクトン学会2025 年 日本ベントス学会・日本プランクトン学会
合同大会

会期：2025 年 9 月 9 日（火）～12 日（金）

会場：青葉山コモンズ（仙台市）

URL：https://sites.google.com/tohoku.ac.jp/
benpla2025/**日本哺乳類学会**

日本哺乳類学会 2025 年度大会（北海道大会）

会期：2025 年 8 月 22 日（金）～25 日（月）（予定）

会場：酪農学園大学（江別市）、札幌市教育文化会館
（札幌市）URL：https://www.mammalogy.jp/conf/2025/
index.html

〈TAXA〉は 2003 年 12 月 13 日に開設され、2003 年 12 月 24 日午後 5 時に稼動開始しました。2020 年 4 月 1 日より新サーバーでの運用を開始しています。2025 年 7 月 15 日の時点で 775 名の会員が登録されています。入会を希望される方は、

1) メールアドレス

2) 氏名（日本語表記ならびにローマ字表記）

3) 所属

を明記の上、office@ujssb.org までご連絡ください。

[編集後記]

分類連合ニュースレターでは随時加盟学会員の皆様から広くご寄稿を募集しております。原稿は江口宛 (antist@tmu.ac.jp) に電子メールでお送りください。皆様からの多数のご寄稿をお待ち申し上げております。
(ニュースレター編集担当：江口克之)

日本分類学会連合ニュースレター 第 45 号

2025 年 7 月 20 日発行

発行者 日本分類学会連合

事務局 〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

国立科学博物館・筑波研究施設内

編集者 江口克之（東京都立大学院理学研究科）

TAXA —— 生物分類学メーリングリスト

日本分類学会連合が運営するメーリングリスト〈TAXA〉は、生物分類学に関する情報交換や討論をするためのメーリングリストで、生物分類学に関心をもつすべての方に開放されています。〈TAXA〉メーリングリストは下記の趣旨により開設されました。

日本分類学会連合は、「生物の分類学全般にかかわる研究および教育を推進し、我が国におけるこの分野の普及と発展に寄与することを目的(規約第 2 条)」として、2002 年 1 月 12 日に設立されました。現在、分類学に関係の深い 27 の学会が加盟しています。その後、本連合はこの目的に向かって様々な活動を展開してきましたが、このたび新たな事業として「メーリングリスト〈TAXA〉」を開設することになりました。このリストの趣旨は、本連合からの広報のほかに、登録会員が互いに分類学に関する情報交換や討論をするための場を提供することにあります。したがって、このリストは本連合の加盟学会の会員ばかりでなく、分類学に関心をもつすべての方に開放されます。なお、リストへの登録など管理、運営は本連合の担当者が行いますが、投稿は登録会員なら誰でも自由に行えます。多くの方が登録くださいますようご案内申し上げます。

2003 年 12 月 21 日
日本分類学会連合
代表：加藤雅啓